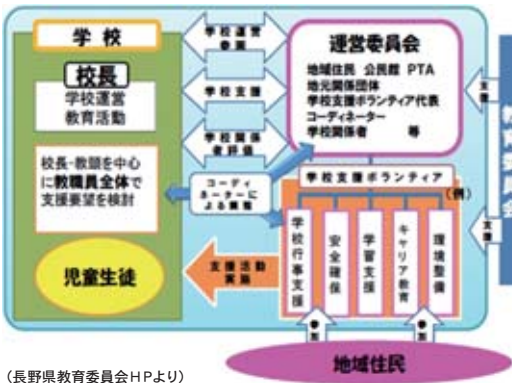


進めよう!!
広げよう!!

信州型コミュニティスクール

PTAのつながり力・組織力を活かして



(長野県教育委員会HPより)

「信州型コミュニティスクール」(以下信州型CS)を長野県教育委員会は来年度中に県内すべての小中学校に設置を目指している。前号は参加者の活動を紹介した。「信州型CS」が今後広く浸透していくため、PTAとしてどのように関わっていくのがよいかを考えていきたい。

これまで築き上げてきた、学校と地域が連携しながら子どもを育てる取組を土台に、学校・家庭・地域が協働して仕組みを整え、地域の実情に合った取組を進めていく形を「信州型CS」といいます。「こんな子どもを育てたい」という願いを、学校・家庭・地域で共有し、みんなが子どもを育てていくこととしていきます。

左記の図のような仕組みを、平成29年度中に県内すべての小中学校で整えることになっていきます。学校が必要としている支援に、学習支援ボランティアとして参加する活動から始めている学校が多いようです。

学校主導で組織を立ち上げ、PTA参加については途上であるA小学校で、有志ボランティア参加が発端で、保護者主体に運営・活動しているB小学校の、二つの事例を見ていきたいと思います。

長野県 P T A 新聞

発行
長野県PTA連合会
長野市旭町1098信濃教育会館内
TEL 026-235-4361
発行人/千野貴文
編集者/宮坂ゆかり

ホームページ
<http://www.pta-naganoken.net>
E-mail
office@pta-naganoken.net

全国表彰……
日P全国大会・関東ブロック大会……
県教委との教育懇談会……
単P訪問……

4 3 2 2

登録は20人に!
実際の声が一番の
効果あり!

子どもたちと一緒にいると、元気をもらえらるわ。学校や子どもの様子がよくわかるわ。

信州型CSをもっと知って、学校にお知らせできたらいいな、PTAとして何かしたいと思っています。(金長)

登録は3人……と応募があると思っていたのに、PTA活動で知り合っているし集まるし。登録してはみるか、義務みたいで不安かな。(保護者)

まだ……と悩んでいたら、お母さんボランティアの先輩から話を聞いてみることにしました。

〇具体的な活動の様子を学校で知り、PTAとして参加してみたい。

〇お母さんボランティアの先輩から話を聞いてみることにしました。

登録したい支援の内容は…

環境整備	花壇 草取り 苗作り
読書支援	読み聞かせ 図書整理 飾り
安全確保	見守り補助 見守り
学習支援	教科指導補助(ミニ料理、書写、工作、音楽等) ドリルOつけ
体験学習	地域探訪 農作業等

まずは……組織? 学校運営委員会 学校運営ボランティアの募集をかけたよ。

〇コーディネーター(公民館長、区長、校長、PTA正副会長、学校頭)

〇PTA活動の関係はどうか? 今までは何かしら関わっている。

④とにかく 支援ボランティアの募集をかけたよ。

「教室を飾って子どもたちを喜ばせよう!」あるクラスの保護者の有志が始めたボランティア活動が学年へ、更に学校全体へ広がり活発な活動がされている。それぞれが活動していたボランティアが信州型CS発足に伴って一つにまとまり運営委員会が立ち上がった。運営委員会とは別にボランティアが中心となりPTAとしての保護者が運営にあたり、名簿作り

①29年度中に信州型CSの設置は必須!どうしよう?

②今ある資源を活用すれば、すぐスタートできるよ!

まずは……組織? 学校運営委員会 学校運営ボランティアの募集をかけたよ。

〇コーディネーター(公民館長、区長、校長、PTA正副会長、学校頭)

〇PTA活動の関係はどうか? 今までは何かしら関わっている。

まとめ

学校や地域の特色、実情によって、信州型コミュニティスクールの立ち上げ方や運営の仕方が違うことがわかりました。

保護者であるとともに地域住民でもある私たちPTAとしては「頼まれ

「教室を飾って子どもたちを喜ばせよう!」あるクラスの保護者の有志が始めたボランティア活動が学年へ、更に学校全体へ広がり活発な活動がされている。それぞれが活動していたボランティアが信州型CS発足に伴って一つにまとまり運営委員会が立ち上がった。運営委員会とは別にボランティアが中心となりPTAとしての保護者が運営にあたり、名簿作り

子どもたちの笑顔が好きでコーディネーターを引き受けました。学習支援の補助の仕方かわからず、どこまで踏み込んでいいのかわかりませんが、PTAや地域住民、学校と協力し合いの活動しています。クチコミや地域への回覧で登録人数も増えて支援の幅も広がって、うれしく思っています。

B小学校の基盤には主体的なPTA活動がある。ここに、今後のPTAとしての関わり方のヒントがあるのかもしれない。

先生方と年間計画を相談中

Face Book はじめました!

<http://sites.google.com/view/naganopta-facebook/>

息子の通う小学校の読書会が4年目。活動当初は読書会として緊張の連続でしたが、今では子どもたちの眼差しと向き合うことがとても心地よいものとなり、充実感で満たされる時間となっています。昨年度からは、給食の配膳や掃除、休み時間における子どもたちの遊び、書写や裁縫、料理といった授業のサポート等、学校支援ボランティアが関わっている内容も増えています。人材もPTAのみならず、赤ちゃんと背負ったお母さんや地域のお爺さんお婆さんまで幅広く、それぞれの持ち味や得意とするところを活かしての活動となっています。

信州型コミュニティスクールが各地で展開され、地域との結びつきがより向上されることに今後期待します。少子化が加速される昨今、子どもたちも大人も多くの人と関わりを持つことは、心の豊かさや、コミュニケーション能力を伸ばしていくこととして、心の豊かさの中で育つ子どもたちは、後世に同じ思いを受け継いでくれる違いありません。(日・K)

子どもたちの笑顔が好きでコーディネーターを引き受けました。学習支援の補助の仕方かわからず、どこまで踏み込んでいいのかわかりませんが、PTAや地域住民、学校と協力し合いの活動しています。クチコミや地域への回覧で登録人数も増えて支援の幅も広がって、うれしく思っています。

信州型コミュニティスクールが各地で展開され、地域との結びつきがより向上されることに今後期待します。少子化が加速される昨今、子どもたちも大人も多くの人と関わりを持つことは、心の豊かさや、コミュニケーション能力を伸ばしていくこととして、心の豊かさの中で育つ子どもたちは、後世に同じ思いを受け継いでくれる違いありません。(日・K)

信州型コミュニティスクールが各地で展開され、地域との結びつきがより向上されることに今後期待します。少子化が加速される昨今、子どもたちも大人も多くの人と関わりを持つことは、心の豊かさや、コミュニケーション能力を伸ばしていくこととして、心の豊かさの中で育つ子どもたちは、後世に同じ思いを受け継いでくれる違いありません。(日・K)

信州型コミュニティスクールが各地で展開され、地域との結びつきがより向上されることに今後期待します。少子化が加速される昨今、子どもたちも大人も多くの人と関わりを持つことは、心の豊かさや、コミュニケーション能力を伸ばしていくこととして、心の豊かさの中で育つ子どもたちは、後世に同じ思いを受け継いでくれる違いありません。(日・K)

2月始めにピンク色の封筒に入ったご案内を各学校に配布させていただいております。

PTA小・中学生総合補償制度

平成28年度に加入者数が、11,000人を突破して、平成29年度より新たに示談交渉サービスがつけました。

4月1日補償開始の申込締切は3月24日です!
詳しくは学校で配布されたピンク色の封筒の中のパンフレットをご覧ください。

	申込締切日(消印有効)
4月1日補償開始	3月24日
5月1日補償開始	4月25日
6月1日補償開始	5月25日

引受保険会社: 共栄火災海上保険株式会社 〇お問い合わせ: 小・中学生総合補償制度担当係
電話: 026(234)2180 承認番号 B1622820A1892-20170116

全国表彰

平成28年度の全国表彰において、本県からは7団体と5名が表彰の栄を受けた。以下に受賞団体と受賞者を紹介する。(敬称略)

日本PTA全国協議会会長表彰

- (団体) 松本市立山辺小学校PTA
- (個人) 高澤勇一(平成26年度副会長)
- (個人) 田中 茂(平成26年度副会長)
- (個人) 清水 剛(平成26年度副会長)
- (個人) 藤森 一俊(平成27年度副会長)

優良PTA文部科学大臣表彰

- (団体) 辰野町立辰野中学校PTA
- (団体) 小諸市立小諸東中学校PTA
- (団体) 全国小・中学校PTA広報紙コンクール

(佳作)

- ・上田市立塩田中学校PTA
- ・長野市立三陽中学校PTA
- ・全国PTA三行詩コンクール

(佳作)

- ・第10回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰
- ・伊那市立富巣小学校PTA



東京都内での表彰式にて(11月18日)

全国表彰は、PTAにおける活動が社会教育の発展に貢献した団体・個人に対して行われるもので、教育の向上と文化の振興に寄与することを目的としています。

松本市立山辺小学校PTA

親子のコミュニケーションを深める取組

電子メディアへの正しい向き合い方について子どもたちが意識を高め、親子を深めるコミュニケーションを深めることを目的として以下の取組を行った。

①メディアに関するアンケートの実施・回収・分析・結果公表
②子どもとメディア講演会の実施
③アンケート結果と講演会をもとに学級懇話会での話し合い
④「1人1メディアデー」の実施
⑤親子の絆を深める夢新聞作り
⑥BBS(電子掲示板)を活用し、PTA会員相互の意見交流

これらの取組を通して、親子や家族のコミュニケーションをより深める機会ができた。

PTA専門部の充実した取組に加え、会員の特技を活かした支援も盛んだ。今後も継続して取り組んでいきたい。



「貫練」は、宿題・採点・やり直し・再採点と繰り返して、全生徒が満点を取るまで続ける独自の家庭学習プログラム。PTAもボランティアとしてこの採点をサポートしている。年2回実施される「数学チャレンジ」の研修委員会が新聞「親研だより」で生徒の声を紹介したり、採点体験会を設けたりすることで、参加者が増えるよう活動している。

また、県と共に進める夢創出プロジェクトによる未来新聞作りでも、多くのPTAや地域ボランティアに支えられている。

日本PTA全国協議会会長表彰(団体)

小中一貫校におけるPTA活動のあり方



全域が学区となったことで、学校と保護者、保護者間の関係が希薄になってきている面も踏まえて、よりよい組織のあり方や活動内容について考えた。

また、9年生を対象として「地域活動について」のワークショップを開催し、「地域との交流を大切にしたい」という生徒の思いを深めることができた。

今後は、実施を前提に何ができるかを検討し、特に子どもが安全に関わりについて、「自由記載」の項目で意識的に早急に対応していきたい。

信濃町立信濃小中学校PTA

信濃町立信濃小中学校PTA

全国PTA三行詩コンクール

(佳作)

うまれたときははなし
うれしいな
うれしいな
うれしいな

大出 瑞季
(松本市立筑摩小学校1年)

文部科学大臣表彰(団体)

小諸市立小諸東中学校PTA

市内の小中高等学校PTA、商店振興組合が実行委員会を組織し、学校、地域、家庭が一体となった「合同バザー」スクールズマーケットを、毎年開催している。地域住民と連携、協働が継続され、教育環境の改善や教育支援への意識向上につながっている。

PTAは、整備部、校外指導部をはじめ8つの部で構成され、樹木の手入れなどの環境整備活動、登下校時の街頭指導や市民まつり巡視などの生活指導等、子どもたちのために多くの保護者が関わっている。

第10回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰

伊那市立富巣小学校PTA

教養部主催のPTA講演会「親子で学ぼうかい」やお父さんお母さん、つながりについて子どもたちに伝えようとして単に仕事の紹介のみ

らず実演を交えた発表を行い、働くことへの思いや、今の学びと将来とのつながりについて子どもたちに伝えようとして

第64回 日本PTA 全国研究大会

～徳島うずしお大会～



8月20・21日、日本PTA全国研究大会が徳島

県で開催された。全国より約5000名が集い、長野県PTA連合会からは38名が参加した。

1日目の組織運営・広報活動をテーマとした第1分科会では「PTAの組織づくりと広報活動について語り合おう」を研究課題として、作曲家の住友紀人氏の基調講演と公開討論が行われた。

2日目の全体会では、歓迎アトラクションで本場の阿波踊りが披露され、続いて、漫画家の竹宮恵子氏により「輝く未来をひらくために大切なこと」と題して記念講演が行われた。

徳島の地で学び、肌で感じたことを、学校や家庭、地域にも届けられるように実践していきたい。

第48回 日本PTA 関東ブロック研究大会

～茨城大会～



10月21・22日、日本PTA関東ブロック研究大会が茨城県で開催された。全体で約5500名、長野県PTA連合会からは63名が参加した。

1日目の家庭教育力をテーマとした第5分科会では、辰野中学校PTAから、家庭学習充実プログラムへのPTAの関わりについて発表があった。自主学習の最適な環境

境づくりの事例が報告され、高い関心が寄せられた。

2日目の全体会では「深い学び」と思考体力和題し、西成浩裕氏(東京大学先端科学技術センター)教授の記念講演があった。「長期的視野」全体最適「利己行動」など、PTA活動においても大切な視点を教えていただいた。

長野県PTA連合会 委員会だより ～教育連携委員会～

本委員会は、教育諸団体との連携を更に深めることを目的として、昨年度までの「教育問題検討委員会」から「教育連携委員会」へと改名しました。主な役割は「信州型コミュニティスクール(以下信州型CS)の研究と対応協議」です。

平成29年度中(平成30年3月末)に全ての小中学校における信州型CSの組織立ち上げに向けて、PTAとしての関わり方の方向性を指し示すことが目的です。

このような施策の場合、とかく組織を立ち上げることに終始しがちです。しかし、家庭、学校、地域が一体と

なっており、子どもたちを育てるためには、地域の一員である保護者も学校(教職員)も、次のような本質的な活動を実施することが重要だと考えています。

- ・PTAが地域との橋渡し役となり、有識者との間をつないで地域活性化の一端を担う。
- ・従来PTAのみが受け持っていた諸活動を地域全体に広げ、地域住民の協力を仰ぐ。

PTAと信州型CSが目指している方向性は一致しているため、関係者で熟議を重ねながら、継続的に相互補完し合う組織として連携して参りましょう!

平成28年熊本地震災義援金についての最終報告と御礼

長野県PTA連合会 会長 千野 貴文

長野県PTA連合会では、平成28年熊本地震により被災された学校などに対し、日本PTA全国協議会の募金活動に呼応して、義援金の受付を行いました。

長野県PTA連合会にお寄せいただいた左記の金額全額を、日本PTA全国協議会の災害義援金受付口座に送金いたしました。

義援金総額

4,967,523円

県内の児童・生徒ならびに会員の皆様から多大なるご支援を賜り、衷心より御礼を申し上げます。

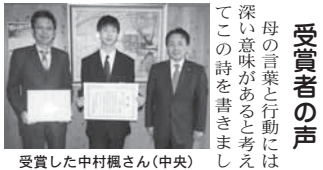
長野県PTA三行詩コンクール

今年度の応募数は5672点。優秀作品の中から3点を紹介します。(敬称略)

☆優秀賞
お母ちゃん、いつも「学校どうだった？」と聞く。めんどくさいけど、ありがと。池上 流季弥(美篤小5年)

洗たく、弁当、土日の応援。ラクになる日を夢みて、成人式を迎えた今、できればあの日にもどりたい。丸山 美加子(山ノ内町立西小教職員)

☆優良賞
大出 瑞季(筑摩小1年)
金沢 咲希(東塩田小6年)
本田 萌(竜丘小6年)
澤田 叶(旭町小2年)
野々田 和真(高塩中2年)
武捨 愛結実(信明中2年)
木内 実夢(野沢中3年)
野澤 比呂(塩生中3年)
下井田 衛(竜丘小保護者)
澤木 明(旭町小保護者)
萩原 美咲(木島平小保護者)
丸山 美由紀(鉢盛中保護者)



受賞した中村楓さん(中央)

受賞者の声
母の言葉と行動には深い意味があると考え、この詩を書きました。

講評
「おめでとう」と言われ、とても嬉しかったです。家族や友達から「わずかな言葉から、その場面や様子が思い浮かび、温かな気持ちになった。」という表現の向こうに、その家庭で大切に育もうとしていく感性が伝わってきた。

長野県教育委員会と長野県PTA連合会との教育懇談会

「すべての子どもたちが活躍できる未来のため」

以下に内容の一部を紹介する。

（信州型コミュニケーションスキルの更なる浸透に向けたPTAの関わり方）

県教委 支援ボランティアの方がよさを実感し、周りの方々に誘って仲間に入っていただきたい。人と人とのつながりを基にボランティアの輪を広げていく地道な活動が大切。PTAだよりや広報を通して地域の方々に啓発していくことも有効。また、信州型コミュニケーションスキルは、皆でその願いを共有し「できる人が、できるときに」を推進していただくことが大切。引き続き、多くの協力をお願いしたい。

（子どもの貧困問題に対する取組）

県教委 知事部局では、平成28年3月に「長野県子どもの貧困対策推進計画」を策定した。県教育委員会としてもこの計画

第25次研究委嘱 PTA実践報告

長野県PTA連合会では、各単位PTAの積極的な活動を支援したいと願い、昭和61年度より研究委嘱事業を実施しています。今回は平成28年度25次実践報告からその一部を掲載します。

参加したくなるPTA活動の実施

北安曇郡小谷村立小谷中学校PTA

研究内容
授業参観、学級PTAへの参加率を上げるため、学校と協力して、内容や告知方法などについて検討した。周知が徹底され、参加率も上がった。PTA講演会への参加3年前から小中学校合同の講演会を実施。村の広報やテレビでの事前告知や気軽に体を動かすな

どの参加しやすい内容にした。PTAだけでなく地域の道祭りへの参加協力村の一大行事である「塩の道祭り」に昨年度から中学校全体で参加・協力している。子どもたちは、お客様のおもてなしを担当し、PTAは主に子どもたちの送迎で協力した。

成果と課題
保護者も子どもたちも地域の一員としての役割を担うことができれば、学校・地域・保護者同士のつながりが強固になって、今後地域と連携し、子どもたちを育てていこうと思ってもらえるような活動を続けていきたい。

「信州型コミュニケーションスキル」構想へのPTAの関わり方

小諸市立小諸東中学校PTA

「信州型コミュニケーションスキル」の活動に、どのように関わっていくかは、子どもや学校、PTAにとってより有益な活動になるかを考え実践した。

研究内容
①生徒会「福祉委員会」の「アルミ缶回収活動」への協力
②資源回収で学校支援
③スクールズマーケット

アルミ缶回収量が増え福祉施設への寄付が広がった。また、資源回収、スクールズマーケットの取組による学校活動への援助ができた。さらに、学校支援ボランティアによる学力向上を目的とした「東中塾」を実施できた。PTAや地域全体を巻き込んだ活動にするため、生徒や学校を支援する意識を更に高めていきたい。

成果と課題
④「学校支援ボランティア」(学校人材バンク)の充実
学校の体制が変わっても継続的支援ができるよう一覧表を整備した。

研究内容
①アンケートの実施
資源回収後に子どもと保護者へ意識調査アンケートを実施し、子どもの環境問題に対する意識の変化や感想を聞き取った。今後の資源回収活動の向上につなげていきたい。

成果と課題
アンケートの結果、多くの子どもたちが資源に興味を持ち、楽しみながら参加していることがわかった。また、地域の回覧板やのぼりの設置などで、地域の方が気軽に学校へ足を運んでもらうことができた。今後も地域と一体になって協力し合える資源回収を継続していきたい。

資源回収を通じた環境教育の推進

茅野市立永明小学校PTA

茅野市では、環境学習を推進している。そこで「ごみ問題」に焦点をあて、資源回収を通して、子どもたちの環境問題への意識向上を図りたいと考えた。

研究内容
①学校支援ボランティア募集への協力
学校側から提示されたボランティアについて、全保護者にアンケート調査を行い、登録リストにまとめた。また、ボランティアの枠を、地域住民まで広げ、一体となつて子どもを育てていくことを目指した。

成果と課題
ボランティア支援が広がることで、学校とPTAの関係もより深くなってきた。地域には、技術や知識を持っているたくさんの方がまだいると思われ、住民自治協議会などとも協力し、ネットワークを広げていきたい。

信州の牛乳を飲もう!

長野県生乳生産販売委員会
信州JA全農長野
長野県牛乳普及協会

僕たち! 私たち! がつついています!

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。 やっば信州の牛乳でしょ 検索

笑顔でいっぱいの学校に



安曇野市
ほたかぎた

穂高北小学校

北アルプスの麓、自然豊かな「水と緑の都」安曇野市。その北部に位置する穂高北小学校は北アルプスの山々と広大な田園地帯に囲まれている。学校教育目標「かがやく命 ひろがる笑顔」のもと715名の児童が元気に過ごす。伝統ある天蚕学習・飼育に学校全体で取り組んでいる。



単位PTA訪問 No.87

命の大切さを学ぶ
4月の第二、第三土・日曜日、地区ごとに分かれて親子自転車教室が行われ、大勢の参加があった。PTA安全指導部が中心となり、1・2年生は公民館で、3年生からは道路に出て、警察や安全協会の方に自転車の正しい乗り方と交通ルールを指導していただき、通学路や学校周辺の道路を親子が交互に、列になつて走ってみる。PTAだけでなく、地区役員の方々にも協力していただき各危険箇所の確認も行った。親子が走る姿は真剣そのもの。一緒に指導を受けることで、改めて危

命の大切さを学ぶ
保護者、地区担当の先生があたり、中学校へも連発。校庭では中学3年生とそこの保護者が待機し、回収されてきた資源物をトラックと運んでおり、一丸となつて取り組む作業は、連携が取れており、手際よく進んでいく。
積極的に作業する中学生の姿から、指示がなくとも自分の役割を見つけて作業する小学生たち、この活動を通して、中学生から学ぶことは多い。また、小学生の保護者にとつては、我が子が進化する中学校の様子を知ることが出来る貴重な場ともなっている。

開校以来続く 三行詩作り
父親母親委員会の活動として、読み聞かせの他に、
.....
一列に並んで安全確認
.....
は、なんとハッカラー車4台ほどにもなる。その収益金は、子どもたちのクマよけの鈴や課外活動費の一部になる。地域からの大きな支援が子どもたちの安全活動を後押ししている。
また、年2回のPTA作業では、5・6年児童と4年生以上の保護者が一緒に作業をする。天蚕を飼育するクマギの下草刈りなど力仕事はお父さん

自分たちの手で きれいに
PTA施設部を中心とした美化作業が年3回行われ、その一つとして、アルミ缶回収が6月に行われた。日頃から地域の方がためておいた缶が回収され、校庭に集められる。大量のアルミ缶

親子で挑戦!! 「PTA研修会」
毎年11月の土曜参観日に併せて、午後からPTA文化部が主催する「PTA研修会」が開かれる。今年度は9講座開講し、約400人が参加した。地域の方を含めた講師を招いての講座にはスポーツをして体を動かすもの、陶芸やリースなどの作品を作るものがある。たくさんのおりじな講座は、どれも魅力的で毎年好評である。参加者からは、子どもだけでなく大人も夢中になって楽しめたという感想が聞かれた。

取材を終えて
今年度のPTAスローガンは「みんな笑顔」。一日頃、地域の方がすぐ協力してくれ、子どもたちの笑顔のために地域と共に協力していき「たい」と宮澤会長が語ってくれた。昇降口には学校に足を運んでくれる地域の名人たちの笑顔あふれる写真がたくさん飾られていた。
帰路時に青パトとすれ違った。穂高地区の青色パトロール当番は事故や事件の抑止・見守りのためにPTAが行っているそうだ。PTAと地域とがみんなで子どもたちの成長を見守っている学校だと感じた。

取材を終えて
木島平はスキーでも有名だ。昇降口にはカッパや賞状が飾られていた。地域の方々からもたくさん協力があり、村全体が期待している。
また、学校支援ボランティア募集のお便りも貼られていた。ふるさとに生きる人から、ふるさとを学ぶことは木島平の教育理念である「ふるさと木島平を心に刻む教育」につながるべく、いくつではないかと思つた。

取材を終えて
「3校が統合することによりPTA活動も見直されたい」と宮澤会長は話していた。
木島平はスキーでも有名だ。昇降口にはカッパや賞状が飾られていた。地域の方々からもたくさん協力があり、村全体が期待している。
また、学校支援ボランティア募集のお便りも貼られていた。ふるさとに生きる人から、ふるさとを学ぶことは木島平の教育理念である「ふるさと木島平を心に刻む教育」につながるべく、いくつではないかと思つた。

ふるさとのよさを学ぶ



木島平村
きじまだい

木島平小学校

四季の彩りが美しい高社山の麓に木島平小学校はある。平成22年に北部小・中部小・南部小の3校が統合され、開校した。
小・中共に1校という環境から木島平型小中一貫教育を取り入れ、学校教育目標「心と体をひらいて学ぶ子ども」のもと220名の児童が学んでいる。

小中合同の資源回収
校外指導部を中心とした資源回収が毎年9月に終わる。アルミ缶をはじめ新聞やビール瓶が対象だ。小中合同で行うため、回収には小学生と中学生1・2年生、それぞれ

一体感が味わえる スポーツ大会
毎年10月、総務部が企画するスポーツ大会は、村民体育館を会場に開催される。今年度は「ぶらばーるバレーボール」で競い合った。柔らかいお

取材を終えて
木島平はスキーでも有名だ。昇降口にはカッパや賞状が飾られていた。地域の方々からもたくさん協力があり、村全体が期待している。
また、学校支援ボランティア募集のお便りも貼られていた。ふるさとに生きる人から、ふるさとを学ぶことは木島平の教育理念である「ふるさと木島平を心に刻む教育」につながるべく、いくつではないかと思つた。

取材を終えて
木島平はスキーでも有名だ。昇降口にはカッパや賞状が飾られていた。地域の方々からもたくさん協力があり、村全体が期待している。
また、学校支援ボランティア募集のお便りも貼られていた。ふるさとに生きる人から、ふるさとを学ぶことは木島平の教育理念である「ふるさと木島平を心に刻む教育」につながるべく、いくつではないかと思つた。

取材を終えて
木島平はスキーでも有名だ。昇降口にはカッパや賞状が飾られていた。地域の方々からもたくさん協力があり、村全体が期待している。
また、学校支援ボランティア募集のお便りも貼られていた。ふるさとに生きる人から、ふるさとを学ぶことは木島平の教育理念である「ふるさと木島平を心に刻む教育」につながるべく、いくつではないかと思つた。

取材を終えて
木島平はスキーでも有名だ。昇降口にはカッパや賞状が飾られていた。地域の方々からもたくさん協力があり、村全体が期待している。
また、学校支援ボランティア募集のお便りも貼られていた。ふるさとに生きる人から、ふるさとを学ぶことは木島平の教育理念である「ふるさと木島平を心に刻む教育」につながるべく、いくつではないかと思つた。

編集後記

ここは長野県PTA新聞編集部。1号発行するたため約10回の編集会議が行われる。現役のPTA会員でもある編集部員たちが、就者の興味関心に寄り添ったタイムリーな話題を掲載すべく取材をし、記事を書き、紙面構成を工夫する。
「読みます。一部会の度に見つけた原稿を、読み上げ、他の部員に意見を求める。」「支えられた」ではなく「支えられている」では、「この表現だと読む人によって受け止め方が異なるよ。」「この記事を何度も書き直す。また別の日に、割り付けが上手くいかず、「もう泣きたくなってきた」とため息が漏れる。本文を1行削るために知恵を出し合う。前号と今号の特集はコミュニティスクール。少しでも関心をもつていただけのなら、編集部員としてこの上ない喜びです。私たちは、この新聞を通して県内全ての小学校を応援する学校支援ボランティアでありたいと願っています。(I.K)

◆広報委員
◎寺沢 隆宏(上高井) ◎宮下 裕三(上伊那) ◎上原 博信(上小) ◎酒井 康行(更 埴) ◎竹田 秀喜(大 北) ◎林 とよ美(松本市) ◎宮坂ゆかり(上高井) ◎山本 典子(長野市) ◎片山 功 中 高

◆新聞編集委員
◎金子 郁子(川中島小) ◎赤塚 香(藤花中) ◎関 富志子(藤花中) ◎宮本 信子(城東小) ◎和田みゆき(相模中) ◎伊藤 由佳(麻陵中) ◎小林恵美子(吉田小)

給食

おいしい給食

子どもたちのために 公益財団法人 長野県学校給食会

〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5
TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535